

緊急消防援助隊情報

平成27年9月関東・東北豪雨への緊急消防援助隊出動に関する消防庁長官表彰

広域応援室

1. 災害概要

平成27年9月9日（水）から11日（金）にかけ、台風第18号から変わった低気圧に向けて南から流れ込む湿った風と、日本の東海上を北上していた台風第17号から流れ込む湿った風の影響により、多数の線状降水帯が次々と発生し、関東地方と東北地方は記録的な大雨となりました。大雨特別警報が発表された茨城県では、鬼怒川の堤防が決壊するなど広い範囲で浸水しました。茨城県知事からの要請に基づき、1都5県から緊急消防援助隊が出動し、消防防災ヘリコプター、水陸両用バギー、救命ボート等により、住宅に孤立した住民等の救助活動を実施しました。

2. 消防庁長官賞状授与

平成28年1月25日（月）、緊急消防援助隊として出動し、8日間の活動期間中に延べ572隊、2,246名の隊員を派遣した36消防本部及び3県（消防防災航空隊）に対し、消防庁長官賞状を授与するにあたり、消防庁長官室において、各都県代表消防機関及び各県の代表者が出席し、授与式を行いました。

式典では、佐々木長官から、消防機関代表者及び航空隊長に賞状を授与しました。



東京消防庁受領



山梨県消防防災航空隊受領



受賞消防本部と県消防防災航空隊の皆様



挨拶を述べる佐々木消防庁長官



被表彰機関（36消防本部、3県）

- 【群馬県】 ・前橋市消防局 ・高崎市等広域消防局 ・伊勢崎市消防本部 ・桐生市消防本部
 ・太田市消防本部 ・利根沼田広域市町村圏振興整備組合消防本部
 ・館林地区消防組合消防本部 ・渋川広域消防本部
 ・富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合消防本部 ・吾妻広域町村圏振興整備組合消防本部
 ・多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部
- 【埼玉県】 ・さいたま市消防局 ・熊谷市消防本部 ・川口市消防局 ・春日部市消防本部
 ・埼玉西部消防局
- 【千葉県】 ・千葉市消防局 ・船橋市消防局 ・松戸市消防局 ・柏市消防局 ・市川市消防局
 ・木更津市消防本部 ・市原市消防局 ・流山市消防本部
 ・佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部
- 【東京都】 ・東京消防庁 ・稲城市消防本部
- 【新潟県】 ・新潟市消防局 ・三条市消防本部 ・村上市消防本部 ・燕・弥彦総合事務組合消防本部
 ・長岡市消防本部 ・柏崎市消防本部 ・小千谷市消防本部 ・十日町地域消防本部
 ・上越地域消防事務組合消防本部
- 【県（消防防災航空隊）】 ・群馬県総務部 ・埼玉県危機管理防災部 ・山梨県総務部

3. 検証会の開催

上記賞状授与式の後、14時から「平成27年9月関東・東北豪雨における緊急消防援助隊の活動等に関する検証会」（以下「検証会」という。）を開催しました。検証会は、消防庁において、緊急消防援助隊の一連の活動等を検証し、緊急消防援助隊の円滑な運用及びその体制整備に資することを目的として開催しています。

検証会には、緊急消防援助隊として出動した都県大隊の代表消防機関及び消防防災航空隊並びに応援県をはじめ、被災地消防本部・被災県代表消防機関の代表者にも出席いただき、発災直後の現地の状況から緊急消防援助隊の活動に至るまで、多様な視点から多面的な意見交換を行いました。



検証会の様子

各機関から災害及び活動状況について報告いただいた後、主に、以下の内容について意見を交換しました。

- 迅速な県内応援の調整と緊急消防援助隊の要請
- 1つの消防本部管轄内に指揮支援隊が複数隊投入され、同時に指揮支援する場合の運用
- 現地合同指揮所のあり方
- 動態情報システムの効果的な運用
- 航空小隊と陸上部隊との連携
- ヘリコプターの受援体制、多数のヘリコプターが集まった場合の対応

4. おわりに

消防庁では、今後、発生が懸念される首都直下地震及び南海トラフ地震などの大規模災害に際し、緊急消防援助隊の出動に関する措置を迅速かつ的確に行うため、今回抽出された課題を整理し、改善に向けて検討を重ねるとともに、都道府県及び消防本部並びに関係機関と連携し、緊急消防援助隊の充実・強化に努めて参ります。

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課 広域応援室 法積
 TEL: 03-5253-7527（直通）